

研究タイトル：

英語教育(LL授業、英語発音教授法)



氏名：	嵯峨原昭次 / SAGAHARA Shoji	E-mail：	sagahara@kagoshima-ct.ac.jp
-----	------------------------	---------	-----------------------------

職名：	教授	学位：	文学修士
-----	----	-----	------

所属学会・協会：	全国高専英語教育学会、語研、鹿児島県高英研
----------	-----------------------

キーワード：	LL授業、英語発音、ハミング8メソッド
--------	---------------------

技術相談 提供可能技術：	<ul style="list-style-type: none"> ・英語発音、英会話の指導 ・英検・TOEICなどの受験指導 ・
-----------------	---

研究内容：

米国カンザス大学大学院での修士論文のタイトルは“A STUDY OF ERRORS AND THEIR CORRECTION AND AVOIDANCE WITH RESPECT TO THE TEACHING OF ENGLISH PRONUNCIATION IN JAPAN”(日本人に英語発音を教える上での日本人の英語発音の間違いとその矯正法と予防法の研究)となっており、その後も、日本人の英語発音の問題点や効果的な英語発音教授法を研究してきた。現在の取組は、東京の英語発音専門学校である『ハミング発音スクール』から特別に許可をもらい、『ハミング8メソッド』という発音教授法を利用して鹿児島高専のLL授業で発音の指導をしていることである。平成18年度に初めて導入して今年度で8年目に入るが、かなりの成果をあげている。高専入学時、日本語的な英語発音であった学生がステップごとの指導で1年後にはアメリカ人並みの発音を習得するまでに至っている。ハミング8メソッドとは ステップ1：音のエネルギー(英語用の発声トレーニング) ステップ2：音のための筋肉(英語用の筋肉トレーニング) ステップ3：音の形(英語用の口舌10パターン) ステップ4：音のもと(英語版のあいうえお(個々の音)) ステップ5：音の動き(目に見えるアクセント(単語)) ステップ6：音の流れ(目に見えるイントネーション(文章)) ステップ7：音の変化(聞こえたままの発音記号(繋がる、消える、弱くなる音)) ステップ8：音の強弱(目に見える強弱(リズム)) これらのステップに従って訓練していくと、響きのある聞きやすい発音ができ、自信をもって英語が話せるようになる。単に口や舌の動きを真似するのではなく、英語を話すのに必要な呼吸法や筋肉トレーニングを基礎とし、ステップ1～8まで段階的に積み上げていく英語発音教授法である。

提供可能な設備・機器：

名称・型番(メーカー)

名称・型番(メーカー)	